



ゆう&あい

10月号
平成27年
9月24日発行

優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛

播磨町ボランティアセンター・播磨町善意銀行
発行所：社会福祉法人 播磨町社会福祉協議会 TEL079(435)1712

朗読ボランティア初級講座 受講者募集

毎月、各種団体が発行する広報紙が皆さんのお宅へ届けられますが、視覚障害のある方や、目の見えにくくなった方が紙面から情報を読み取ることは容易ではありません。

播磨町社協では「声の広報」として、朗読ボランティアさんにご協力いただき、声を吹き込んだCDを上記の方(*)にお届けしております。 ※ご利用の際は申請が必要です。

ただ今「朗読ボランティア初級講座」受講者を募集中です。



〔日 時〕 10月14日～12月9日の期間中、毎週水曜日
全8回 10時～12時 ※11月25日をのぞく

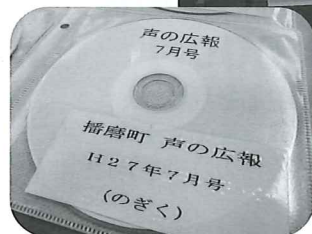
〔参加費〕 500円(テキスト代)

〔対 象〕 年齢男女不問、どなたでもどうぞ。

〔定 員〕 若干名

〔申込締切〕 10月10日(土)

なお、講座終了後、ボランティアグループに加入し、活動できます。



〔問合せ・申込み先〕
播磨町ボランティアセンター
☎079-435-1712
E-mail: info@harima-wel.or.jp

介護支援ボランティア養成講座・秋コース 参加者 募集

地域で高齢者を支えるしくみづくりと、ボランティア活動を通じた生きがいがづくり・介護予防の推進をめざして、介護支援ボランティア養成講座を行います。

◇日程・内容：①10月7日 ・ボランティア活動の基本・播磨町の介護保険の現状と高齢者の理解
②10月14日 ・認知症の理解と支援
③10月21日 ・基礎介護技術 ～外出・移動の支援～
④10月28日 ・ボランティア活動の実践を聴く
水曜日 全4回 13:30～15:30

◇場所：播磨町福祉しあわせセンター ◇募集人数：20名程度 ◇費用：無料

◇申込み・問合せ：播磨町地域包括支援センター ☎079-435-1841
10月2日(金)までにお申込み下さい。



受講生募集

権利擁護支援員養成講座



私達の地域で高齢者や障がい者の方がいつまでも安心・安全に暮らすことができるよう日常生活の相談にのり、見守る「権利擁護支援員」の養成講座です。さまざまな分野で活躍する講師から、一緒に楽しく基礎知識を学びましょう。

〔開講日〕

平成27年9月30日(水)～12月2日(水)
全10回毎週水曜日 10時～12時

〔対 象〕

播磨町在住・在勤中の方 20名

〔参加費〕 無 料

〔場 所〕

播磨町福祉しあわせセンター



〔プログラム〕

	開講日	内 容
①	9月30日(水)	開講式・オリエンテーション グループワーク
②	10月7日(水)	成年後見制度について
③	10月14日(水)	市民後見について
④	10月21日(水)	高齢者・認知症高齢者の理解と コミュニケーション
⑤	10月28日(水)	障害の理解とコミュニケーション
⑥	11月4日(水)	傾聴① 役割と意義
⑦	11月11日(水)	傾聴② その技術を身につける
⑧	11月18日(水)	地域で見守る～見守りって何?～
⑨	11月25日(水)	個人情報保護とプライバシー保護
⑩	12月2日(水)	福祉サービスの利用の仕方 1.障がい者の場合 2.高齢者の場合

問合せ・申込み

播磨町権利擁護まちづくり委員会
事務局：播磨町社会福祉協議会
TEL.079-435-1712
FAX.079-436-5610

伝言板

このページに関する問合せは
播磨町社会福祉協議会
TEL.079-435-1712

おもちゃルーム “きらきら” 10月の開設日

日時 10月1日(木)・17日(土)
10時～12時
場所 播磨町福祉会館

困りごと相談

秘密厳守

日時 10月8日・22日(木)
13:00～15:00
場所 福祉しあわせセンター
播磨町人権擁護委員会が
ご相談をお受けします。

心配ごと相談

秘密厳守

日時 毎週火曜日
13時～16時
場所 福祉しあわせセンター

福祉相談

日時 10月7日・21日(水)
13時30分～16時
場所 福祉しあわせセンター
民生委員・児童委員が
ご相談をお受けします。

知的障害者(児)相談

日時 第2土曜日
10時～11時30分
場所 石ヶ池パークセンター

法律相談

弁護士により月1回、実施します。
成年後見制度のご相談も
お受けします。
◎法律相談をご希望の方は、事前に
心配ごと相談をお受けください。

子育て相談

日時 10月26日(月)
13時30分～16時
場所 福祉しあわせセンター
主任児童委員が
ご相談をお受けします。

認知症家族の会

日時 10月10日(土)
13時30分～15時30分
場 所 福祉しあわせセンター
内 容 懇談会

8月11日以降の寄付者のご芳名については、11月号でご報告させていただきます。

第8回 福社会館文化祭

日時：平成27年10月27日（火）午前10時～午後4時

【発表の部】

時 間	出演団体・サークル等	内 容	会 場
10：00～16：00	ロ ー ズ マ リ ー 農 園	ハーブ石鹸等手作り体験	健康相談室
10：00～15：00	茶 道 部	茶道（お茶席券 別途販売）	集会運動指導室
10：00～10：20	大 正 琴 ア ン ダ ン テ	大 正 琴	3 階 会 議 室
10：20～10：50	フ ォ ー ク ダ ン ス サ ー ク ル	フ ォ ー ク ダ ン ス	
10：50～11：30	ハ リ マ ホ イ ホ イ フ ラ	フ ラ ダ ン ス	
11：30～12：50	詩 吟 同 好 会	詩 吟	
12：50～13：30	明 楊 会 播 磨	太 極 拳	
13：30～14：20	太 極 柔 力 球 サ ー ク ル	太 極 柔 力 球	
14：20～15：20	秀 奥 会 民 謡 サ ー ク ル	日 本 民 謡	
15：20～16：00	な で し こ 歌 の 会	カ ラ オ ケ	

【展示の部】

時 間	出演団体・サークル等	内 容	会 場
10：00～16：00	書 道 サ ー ク ル	書 道	生 活 指 導 室 診 察 室 栄 養 指 導 室
	手 描 き 友 禅 同 好 会	手 描 き 友 禅	
	親 子 ふ れ あ い サ ー ク ル	子 ど も の 絵 画 ・ 造 形	
	ビ ー ナ ス （ 絵 画 同 好 会 ）	絵 画	
	生 け 花 教 室	生 け 花	
	折 紙 同 好 会	折 紙	

【バザーの部】

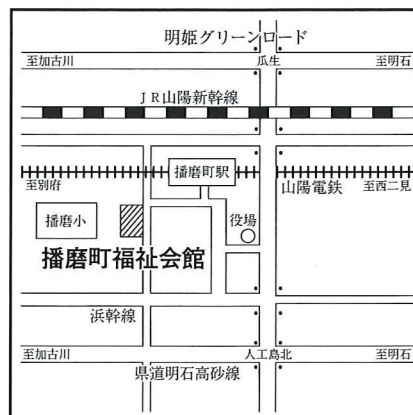
時 間	出演団体・サークル等	内 容	会 場
10：00～16：00	ボ ラ ン テ ィ ア あ す な ろ	手 作 り 品 等 の 即 売	1 階 ロ ビ ー
	ゆ う あ い 園	手 作 り 品 の 即 売	正 面 玄 関
	播 磨 町 陶 芸 サ ー ク ル	手 作 り 陶 芸 品 の 即 売	
	播 磨 町 花 と 緑 の 協 会	花 の 苗 の 販 売	

主催：福社会館、
文化祭実行委員会、
播磨町社会福祉協議会
後援：播磨町

問合せ

播磨町福社会館

☎079-437-3221



福社会館は、山陽電鉄「播磨町駅」の南、播磨小学校の体育館の隣接する3階建ての建物です。住民の福祉の増進、文化の振興を図り、各種集会に利用していただくことを目的とした建物で、入浴施設もあり、高齢者の方等にお風呂に入り、くつろいでいただけるスペースもあります。また、大小様々な会議室があり、部屋の貸出も行っていますので、グループや団体の会合や研修会、趣味のサークルの活動場所として、ぜひご利用ください。



じぶんの町を良くするしくみ。

平成27年度目標額

3,720,000円

地域に必要な福祉活動やボランティア活動などを応援します！
県内の福祉施設や団体、NPOなどの事業を応援します！
いつ、どこで起こるかわからない大規模な災害に備えています！

☆共同募金とは？

共同募金は、地域福祉の推進を目的として社会福祉法に定められた計画募金です。計画募金とは、あらかじめ地域福祉関連の活動をしたい団体から申請を受け付け、配分先を予定したうで行う募金の中で、共同募金の責任と役割の重要性を端的に表す共同募金の大きな特徴となっています。

共同募金運動は、戦後間もない昭和22（1947）年にスタートし、社会福祉施設・団体への機器整備や事業費への配分、さらには、ボランティア活動など地域の草の根活動や災害時のボランティア活動支援など民間の社会福祉事業を力強く支えてきています。



☆配分された募金を何に使っているの？

例えば、平成26年度の播磨町で集まった募金実績に基づき、平成27年度、地域福祉配分金として播磨町社協に3,018,000円が配分され、播磨町社協では、下記の事業計画をもとに、播磨町の福祉力向上のために活用させていただいています。

高齢者の福祉のために
1,394,000円

- ◆給食サービス等の在宅福祉活動
- ◆ふれあいいきいきサロン等の社会参加活動
- ◆ひとり暮らし老人の会等の団体援助活動

子どもの健全育成のために
60,000円

- ◆子ども会等の団体援助活動 等



障がい者の福祉のために
200,000円

- ◆点訳等のボランティア活動
- ◆障害者団体・当事者組織の支援

広報・啓発のために
1,364,000円

- ◆広報誌の発行等の広報・調査活動
- ◆各種団体の援助活動

ほのぼのの便り

ほのぼのの便りでこれまで「認知症」を何回か取り上げてきましたが、認知症は今や他人事ではなく、身近な人に病気が起こる、皆さんで取り組むことが必要な「病」です。今回は、皆さんに播磨町の取り組みについて紹介します。

認知症について、正しく理解し、偏見を持たず、本人や家族を見守る。認知症サポーター数は、763名まで増え、認知症への理解は進んでいるようです。現在、警察・播磨南高校・コープ組合員からも講座開講依頼があり、さらに認知症サポーター数は増えていきます。この認知症サポーター養成講座は、5人程度集まり包括支援センターへご連絡いただければ、キャラバンメイト（講師）を派遣します。

今後、サポーターの方には、徘徊のある方への早期発見・対応をいただくSOSネットワークという仕組みにもご協力いただく計画をしています。

それから、広報はりま（8月号）でも紹介された早期発見のために、役場・中央公民館・福祉しあわせセンター・各コミセンの7か所に、タッチパネルを用いたゲーム感覚で行える「物忘れ相談プログラム」を設置しました。早期発見し、対策を講じることです。早期発見し、進行を防ぎます。5分程度で終わりますので、最寄りのタッチパネルを一度体験してください。

認知症になったとしても、播磨町は暮らすことができる町になるように皆さんの協力を得ながら、築いていきたいと思っています。

（福）